

先輩からのメッセージ（就職・編入学）



なかよし保育園

持田 佳緒里

健康栄養学科 平成 21 年 3 月卒業（栄養士）

「みんなの熱いサポートに支えられました」

私は、保育園の栄養士になりたくてこの大学を選びました。在学中は、正直なところ、介護食や治療食は保育園栄養士には関係ない…とっていた部分もありました。けれど、実際栄養士として保育園で働いてみると、介護食は離乳食を作る上で、治療食は病後の子供の食事を考える上で参考になり、短大で受けた授業全てが今の仕事に繋がっているのだな…と感じることが多くあります。

私は実業高校から入学したこともあり、勉強について行くのに必死だった事を今でも覚えています。しかし、友だちの支えや、先生方の手厚いサポートがあったから今がある。長年の夢であった保育園栄養士になることができ、日々やりがいを感じています。大学で勉強した事を生かし、これからも栄養面で子供たちの笑顔のサポートをしたいと思っています。



安来市立安来保育所

奈良井 京香

保育学科 平成 24 年 3 月卒業

「先生や友達をサポートに感謝」

私は地元島根で働きたくて、この大学に入学しました。入学後すぐに始まる「ほいくまつり」という活動は、この大学の一番の魅力だと言えます。子どもたちの笑顔のために、学生が主体となって考える舞台には、楽しさ、面白さ、だけでなく大きな感動があります。「保育」について一生懸命になって考え取り組むこと、仲間と共に作り上げることの喜びは、この大学だからこそ味わえるものだと思います。

仕事を始めてからは、毎日子どもたちに会えることが楽しみで、子どもたちの成長を身近に感じたり、保護者の方に感謝されたりする時に、とてもやりがいを感じます。自信を持って卒業し、就職できたのも大学での学びが、より実践的であり、現場で働く私を支えてくれたからです。そして何より、大学で出会った仲間は、働いている今でも共に励まし合い、一生の友達といえる存在になっています。



株式会社アミティー松江校

上田 聡子

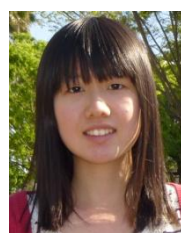
総合文化学科英語文化系 平成 23 年 3 月卒業

「中身の濃い2年間」

私は夢だったアメリカ留学から帰国し、昨年夏から子ども英会話塾で働いています。

オープン・キャンパスがきっかけで総合文化学科（＝総文）に入学しました。総文では様々な角度から英語を学ぶことができますから、できるだけ多くの授業を受講しました。その中でキッズ・イングリッシュとの出会いが今の仕事を決めました。

総文の2年間は、毎日が特別な日でした。先生方との距離が近く、深く学ぶことができ、さらに英語が好きになりました。会話アクティビティをきっかけに友達も増え、コミュニケーション力もつきました。素敵な先生方や一生の友達に出会えた濃い2年間、総文に来てよかった！もう一度学生がしたいです。皆さんもぜひ総文で一生の思い出に残る学生ライフを経験してください！



高知大学人文学部 編入

佐々木 奈津子

保育学科 平成 26 年 3 月卒業

「かけがえのない仲間や先生との出会いのおかげ」

私は子どもが好きで、将来子どもと関わる職業に就きたいと思い、島根県立大学短期大学部保育学科に入学しました。短大での勉強や実習を通じて、虐待をしてしまう保護者や虐待にあっている子どもがいることを知り、保育者として十分なサポートができるようになりたいと感じ、編入学を決めました。編入学の試験対策では先生方がとても親身になって支援してくださったので、試験に落ち着いて臨むことができました。2年間の短大生活はあっという間に過ぎていきますが、私はとても充実した2年間を過ごすことができました。このような短大生活を送ることができたのも、かけがえのない仲間や素敵な先生方に出会えたからだと思っています。



筑波大学情報学群知識情報・図書館学類 編入

周藤 彩

総合文化学科日本語文化系 平成 25 年 3 月卒業

「児童サービスとともに」

短大では、文学や言語学、図書館情報学などを学んでいました。1年生の頃から編入学を視野に入れ、単位変換が可能な科目も履修するようにしていました。次第に図書館について関心を持つようになり、なかでも「読み聞かせの実践」の授業や、おはなしレストランライブラリーの存在をきっかけに、児童サービスに興味を持ち、図書館の勉強を続けたいと思ったことが受験の動機です。2年生の前期から本格的に勉強を始め、論文を読んだり、説明会に参加したりしていました。大変なことも多くありましたが、周囲の人の支えのおかげで、最後まで楽しく学習を続けることができました。今後は児童サービスを中心に、公共図書館との連携や、児童の読書環境の変化について学んでいきたいと思っています。



山陰中央新報社 編集局

糸賀 淳也

総合文化学科文化資源学系 平成 25 年 3 月卒業

「短大での学習が生きている」

短大で学んだことは四年制大学への編入学後、就職後も役に立っていると感じています。短大では、地域の文化や歴史について学びたいと思い、文化資源学系を選択しました。同学系ではフィールドワークを取り入れた授業が多く、地域の人と積極的に関わって話しを聞いた、体験したりすることの楽しさを知りました。編入学後は、地域の振興策について考えるゼミに所属し、やはりここでもフィールドワークを主体とした学習を行いました。それから大学を卒業して現在、地方新聞社で記者をしています。人に会いに行き話しを聞き、写真を撮り、記事にするのが仕事。短大のときとやっていることは同じです。短大の頃の学習が基礎となり、今までつながっていると、そう強く感じています。

大学生になると、高校生のときよりも主体性が求められます。授業は自分で選んで取りましますし、自由な時間が増えるので、どう過ごすかは自分次第です。2年間はあっという間なので、楽しみながら、悔いのない学生生活を送ってください。